

わたしの街の いちよう並木

5年 山田 千裕

調べたきかた
調べたいこと

西八王子駅周りはとても立派で美しい
並木がおぼろげながら高く
と続くらぶつのも
思っています。



わたしの街の いちょう並木



八王子市立第五小学校 5年2組 山田千裕

載っている資料を探す。

1. 調べたきっかけと 調べたいこと

西八王子駅周辺には、とても立派で美しいいちょう並木があります。追分町から高尾駅前に向かってずらりと続くいちょうの木。いったい何本あるのかな？といつも思っていました。そしていつごろからあったのか？いちょう並木の歴史と実際に何本あるのか数えてみました。

2. 予想

○200~300本くらいではないか、と思います。
○樹齢50年くらい？

3. 調べる方法

- 追分町の1本目から自分で数える。
- インターネットで、八王子市のホームページでいちょう並木について検索する。
- 中央図書館のレファレンスルームで、昔のことが載っている資料を探す。

4. 調べた結果

昭和2(1927)年の大正天皇の多摩御陵完成に伴い、昭和4(1929)年に道路改修された際に宮内庁によって植えられました。当時は2メートルほどだった苗が今では15メートル以上に達しているものもあります。

昭和39(1964)年に、甲州街道が東京オリンピックの自転車競技のロードレースコースとされたのを機に、市の天然記念物に指定しました。(昭和39年7月23日)その後、市制60周年を記念して、昭和51(1976)年に「市の木」に制定されました。

高さ平均15メートル。目通り平均1.4メートル 本数
763本(注意)平成20年現在

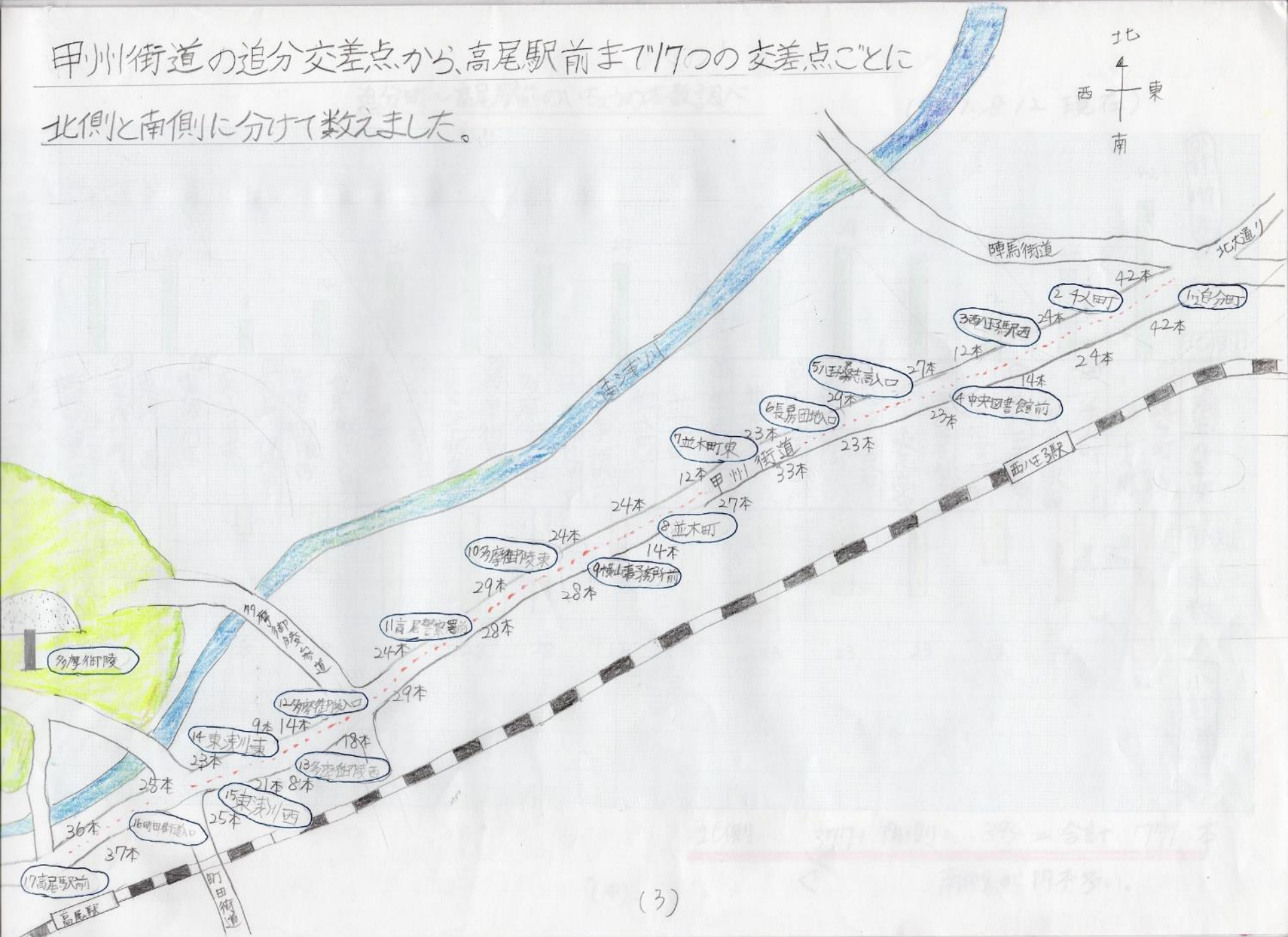
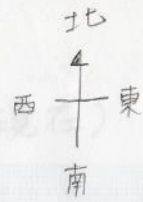
＝目の高さに対応する
立ち木の幹の太さ

八王子市役所公式ホームページ 2017.8.8検索
<http://www.city.hatchioji.tokyo.jp>より

旺文社 国語辞典 1988年
改訂新版 松村明編より

甲州街道の追分交差点から、高尾駅前まで17つの交差点ごとに

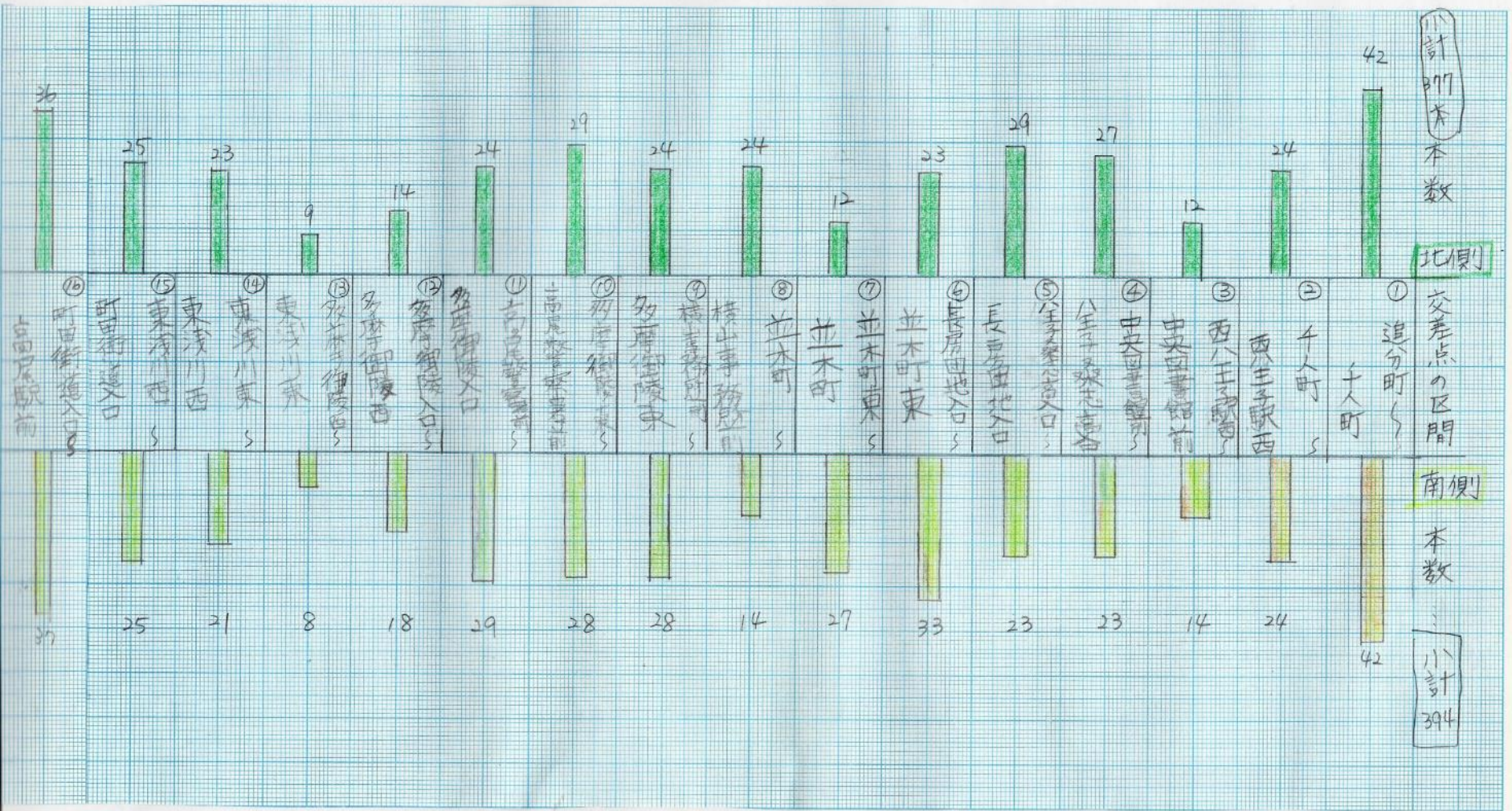
北側と南側に分けて数えました。



20個 397 + 201 = 598 = 合計 1771 本

わかったこと

追分町～高尾駅前のいちごの本数調べ (2017. 8. 12 現在)



北側 ... 377 + 南側 ... 394 = 合計 771 本
 < 南側が17本多い。

また別の資料
 八王子の地元 (4)

5. わかったこと

集計の結果、いちょうの本数は77本でした。(2017.8.12 現在)

南側の方が7本多いのは意外でした。どれも樹齢90年近い
立派ないちょうですが、中にはこんな樹もあり、1本として数えました。
(どちらも多摩御陵東へ高尾警察署間)



(2017.8.12 10:45)
山田千裕 撮影

77本を残してあります。
そこから新しい芽が成長していきます。

それから中央図書館で探した資料で、いちょうが植えられたころの追分の
風景と、昭和39年、甲州街道で「ロードレース」が行われた時の写真に、いちょう
並木が写っていました。追分の交差点に昔は路面電車が通っていたなんて
びっくりしました。いちょうの木も今に比べると、また低いのがわかります。
また別の資料で「77本」のいちょうの苗木が宮内庁から寄贈され、
八王子の地元の人達が植樹したことも載っていました。

(5) 「町制100周年 追分町のあゆみ」八王子市追分町制100周年記念誌編集委員会編集

追分町生誕100周年実行委員会
発行 平成24年



▲ 追分町を走る路面電車。追分町から高尾方面に向かって撮影。昭和4年に多摩陵造営記念に植えたイチヨウの木が見え、右には、江戸時代からの和菓子店のいなげやが見える。店の右側の碑は江戸期、高尾山を信奉する足袋屋清八が、参拝者が道に迷わず高尾へ出向くためにと、追分とよばれる数か所に建立した道しるべの1つである。「左 甲州道中高尾山道、右 あんげ道（案下道・現在の陣馬街道）」とある。碑は甲州街道方面に移設され、一部復元されて現存する。（昭和6年頃）



今の追分町の様子 2017.8.17 山田千裕 撮影
15:25 並木と比べた下さ11.0:30

(6)

▶甲州街道追分町を走る自転車選手たち。ロードレースは多摩御陵入り口付近をスタート、市内から滝山街道、さらに高尾街道を回走する競技である。沿道には観客が選手を応援する姿が見える。国旗を掲げている家もあり、オリンピックを祝う市民の心意気が読み取れる。(昭和39年)



124

(p6)(p7)は、「写真アルバムハワコの昭和」
いき出版 中島幸一他 2015年より
写真提供者の方から、許可を頂いて
コピーをとって、使わせて頂きました。
ありがとうございます。

(7)

それから、いちょう並木は八王子市の天然記念物に指定されて
景観資源として管理されています。→景観重要樹木として適切な
保全管理

「八王子景観計画」
平成23年10月
八王子市発行より

- ・ イチョウ並木やアイストップの山並が映える景観を形成する。
- ・ 心地よさが感じられる街路景観の形成、まち並みの秩序を保ち、
イチョウ並木を活かした心地よさが感じられる街路景観を形成する。

八王子市「くらしの便利帳」
発行平成29年版 より

また、いちょうは秋が終わると、大量の落ち葉を歩道や道路に落とす
ので、沿道の住民の人が清掃したり、黄色い清掃車が走っているのを見かけます。

落ち葉を個人でゴミに捨てる時、八王子市には無料ボランティア袋を配布
しています。そして落ち葉は交通事故を引き起こす可能性があるため、
こまめに道路の清掃を行っています。清掃作業のしくみも調べました。

東京都建設局公式ホームページ
<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/>

2017.8.8検索

東京都の建設局が道路の管理、緑化保全として、街路樹の生育状況
を調査し、歩行者が安全安心に通行できるように、「街路樹診断」という
健康診断を行っていることもわかりました。私が写真を撮ったいちょうの樹
もその健康診断を受けて手当てされたもののようです。

協会の活動について

- 協会の活動
- 技術研修会
- 親子試乗体験
- 安全研修会
- 見学会等
- 部会活動
- 会員専用ページ

車中マラソン作業記録

- 清掃ボランティア

協会の紹介

- 協会の歩み
- 基本運営方針
- 協会組織
- 道路清掃の歴史

道路清掃の実態

- 道路清掃の実態

リンク集

- 関連リンク集

会員ログイン

Username:

Password:

Remember me

会員登録

ホームへ戻る

「世界一美しい道路」をめざして! 道路清掃のしくみを紹介!

道路清掃は、1.美しいまちをつくり、2.事故の原因となりうるゴミ等を取り除くことで安全性を向上させ、3.未来に引き継ぐ大切な資産(街の大動脈=道路)の維持保全により、多くの市民や利用者にとって安心、安全で快適な道路環境の創造に貢献するという大切な役割を担っています。

人びとが安心して暮らしていける環境を守る、道路清掃の実態をご紹介します。

街が眠っている間に働く、緑の下の力持ちチーム!!

もっとも基本的な道路清掃は、車4台のチームで稼働します。時間は夜10時から翌朝6時まで。低速で移動していきますので、交通量の少ない夜間が作業時間となります。

通常は定期的なローテーションで清掃をしていますが、落葉の季節は、稼働回数を増やしてごまめに清掃をします。雪や落葉等は交通事故を引き起こす可能性があるからです。

道路をきれいにする車たち



道路清掃は、4台の車がチームとなって行われます。先行車、続いて散水車、ロードスイーパー、そして最後がダンプカーという構成です。

4台の車には、それぞれ大切な役割が託されていますが、中でも主役級の働きをするのがロードスイーパー。

ここでは、4台の車の紹介とともに、ロードスイーパーの特徴を公開します!



先行車

一番最初に出発して、歩道のゴミを押し出したり、ロードスイーパーでは回収できないゴミを回収します。



散水車

清掃作業中に、ほこりが舞わないように車道の端に水を撒いておく車です。

(9)



スーパー (ベリカン)

ブラシを回転させて、車道のゴミを集めて、車の中のタンクに入れます。



ダンプカー

ロードスイーパーのタンクがいっぱいになったら、ダンプカー(ゴミ運搬車)に積み替えます。

路面清掃の主役ロードスイーパー



メインブラシ

集まったゴミをメインブラシでコンベアに入れます。



運転席

左右のどちら側にも乗っても運転できるように、ハンドルが2つあります。



サイドブラシ

路肩や側溝を清掃します。



ホッパー

集まったゴミを一時的に溜めておく場所です。(写真/上)ホッパーを上げ、集めたゴミをダンプに押し替えます。(写真/下)

歩道は人の手で清掃しています。

車道の清掃も、機械ではきれいにしきれない部分は人の手で清掃します。その他、歩道とかに絡みついてある植物の手入れとか、バス停に灰皿を置いて取っ殻を片付けるとか、目立たないような小さなことにきちんと目を配るのが街をきれいに守る秘訣です。

他にも、こんな場所も清掃しています。



横断歩道橋清掃



散水



落葉清掃



濯水

集められたゴミは、どうするの?

道路清掃で集められたゴミは、東京都、中央防犯機構立処分場に運ばれます。そこで不燃物・可燃物等に分別されて、それぞれに適した処理をされますこととなります。

ゴミをきちんと分別して処分するのは、環境保護の大切なポイント。落葉や土砂にまじったビンや缶等を分別する作業は、機械と人力の両方で行われます。

ふたん身近に感じていたいちょう並木が植えられて90年近いとても古いもの
だったこと、そして771本もあると思っていなかったのが、おどろきました。植えられてから
雨水と日光だけで、大きくなったわけではなく、一本一本、大切に保護されていて、
落ち葉の後始末も、事故が起きないように沿道の放りや市、都で協力あって、
守られていることがよくわかりました。古い写真で昔の様子と今を比べられたのが
おもしろかったし、調べて良かったと思いました。